

第 3 章

水 質 汚 濁

第 3 章 水 質 汚 濁

第 1 節 市内主要河川の水質調査

本市域を流れる主な河川には、斎川・下川・日高川・熊野川・王子川・楠井川があり、いずれも二級河川である。

令和3年度は、これら6河川の6地点(図1)において、4回の水質調査を実施した。調査項目は、水素イオン濃度(pH)・溶存酸素量(DO)・生物化学的酸素要求量(BOD)・化学的酸素要求量(COD)・浮遊物質(SS)・大腸菌群数等の14項目で、測定結果は(表1~6)のとおりである。また、日高川においては、全亜鉛等の3項目についても、2回の調査を実施している。

過去の年平均値については、(表7~12)を参照のこと。

◇pHについては、最小値は下川と日高川の7.0、最大値は熊野川の9.8であった。また、年平均値の最小値は下川と日高川の7.1、最大値は熊野川の9.5であった。高くなる理由としては、藻等の生息、海水の混入、塩基性の温泉等の混入、人為的影響としてコンクリートの溶出や人工廃水の中和に用いる石灰岩や消石岩などがある。その他、生活排水などによっても影響がある。

◇BODについては、最大値は王子川の8.4mg/l、年平均値の最大値は王子川の5.3mg/lであった。

◇CODについては、最大値は王子川の18.0mg/lであった。

◇SSについては、最大値は熊野川の7.0mg/l、年平均値の最大値は熊野川の4.5mg/lであった。熊野川でSSの値が高くなった原因としては、水量が少なく、藻が繁茂していたことが原因ではないかと考えられる。

◇DOについては、最小値は熊野川の5.8mg/l、年平均値の最小値は王子川の7.1mg/lであった。水温によって水に溶ける酸素量が変わり、水温が低いほどよく溶ける。本年度は、いずれの河川も河川Aの環境基準7.5を満足する日が半数ほどであった。

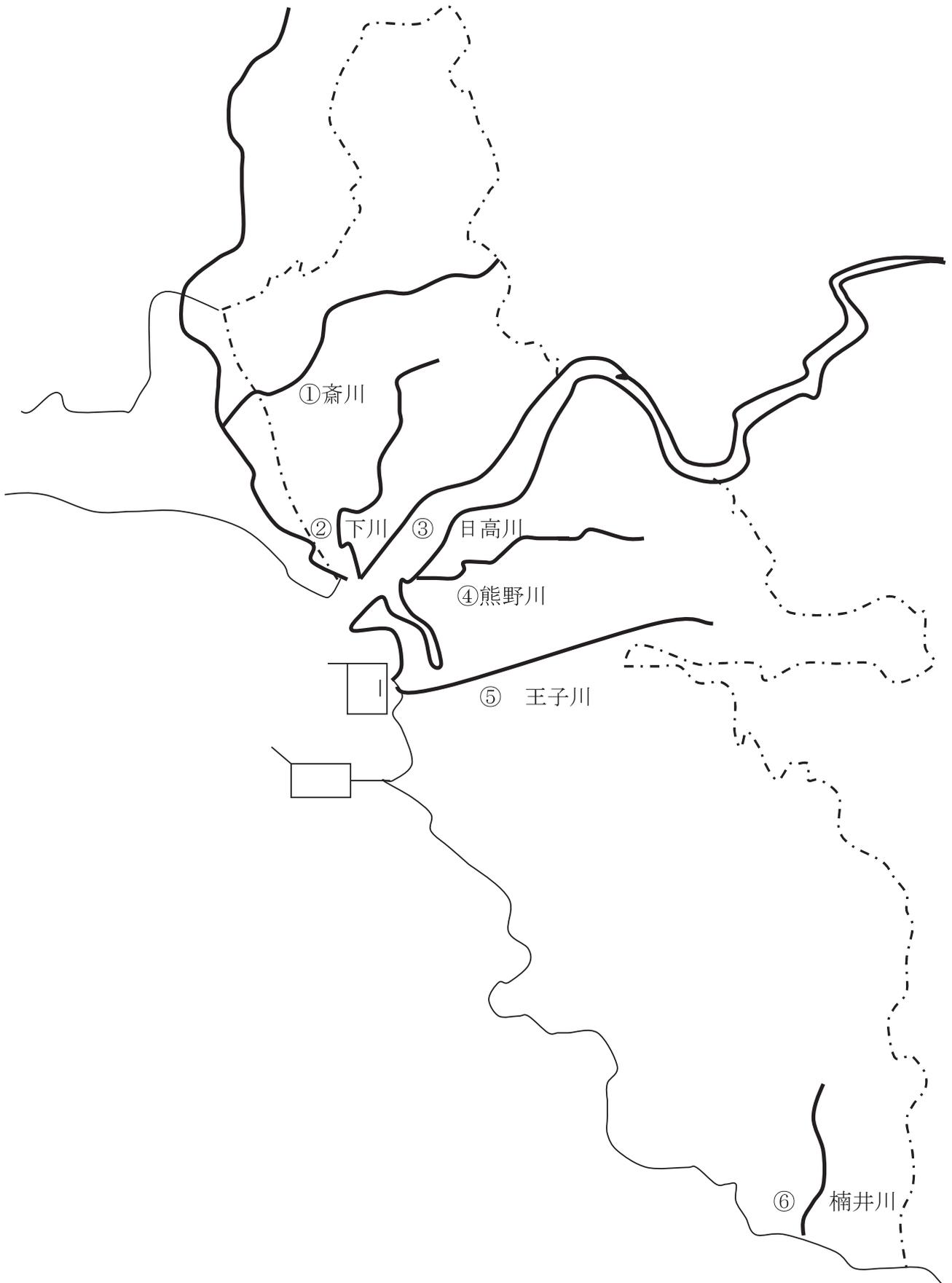
◇大腸菌群数については、最大値は下川の460,000MPN/100ml、年平均値の最大値は下川の182,000MPN/100mlであった。この値については、生活雑排水等の混入などにより高い値を示す。

◇全窒素については、最大値は下川の3.89mg/lであった。この値が高くなると、微生物(プランクトン)などが異常繁殖し、魚介類などが死滅する。

◇全リンの最大値は、下川の0.61mg/lであった。この値が高くなると、全窒素と同様の現象が起きる。

◇その他の項目については、定量下限値未満及び検出されなかった。

(図1) 市内主要河川の採取地点図



(表1) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 斎川 (採水地点=斎橋) ①

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		9時48分	10時45分	10時52分	10時40分
気 温	℃	17.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	25.0	29.0	17.0	12.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
濁 り		なし	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.5	7.2	7.4	7.3
B O D	mg/l	0.5	1.4	検出されず	1.2
C O D	mg/l	4.2	1.8	2.0	1.0
S S	mg/l	2.5	1.2	2.7	検出されず
D O	mg/l	6.0	7.0	8.1	9.5
大腸菌群数	MPN/100ml	15,000	24,000	240,000	2,300
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	0.59	0.35	0.59	0.28
全 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	0.09	検出されず

(表2) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 下川 (採水地点 = 中島橋) ②

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		10時02分	10時55分	11時05分	11時00分
気 温	℃	17.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	21.0	27.8	16.8	11.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡緑色	淡白色	淡白色	無色透明
濁 り		微	微	微	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.0	7.1	7.2	7.1
B O D	mg/l	1.2	4.0	0.9	3.3
C O D	mg/l	12.0	4.2	3.6	3.8
S S	mg/l	4.8	5.2	検出されず	検出されず
D O	mg/l	7.0	7.2	6.8	9.1
大腸菌群数	MPN/100ml	240,000	460,000	4,600	24,000
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	3.89	0.40	1.03	2.39
全 リ ン	mg/l	0.61	0.06	0.15	0.31

(表3) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 日高川(採水地点=野口新橋)③

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		10時54分	11時55分	11時58分	11時55分
気 温	℃	21.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	18.0	27.2	16.0	12.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡緑色	無色透明	無色透明	無色透明
濁 り		なし	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.2	7.0	7.3	7.0
B O D	mg/l	3.4	0.6	検出されず	1.4
C O D	mg/l	2.8	1.6	2.6	1.6
S S	mg/l	1.5	3.3	0.8	0.7
D O	mg/l	7.7	6.8	6.9	9.4
大腸菌群数	MPN/100ml	9,300	7,500	90	430
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	0.20	0.65	0.17	0.45
全 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	0.05
全 亜 鉛	mg/l		検出されず		検出されず
ノニルフェノール	mg/l		検出されず		検出されず
直鎖アルキルベンゼン系 酸及びその塩	mg/l		検出されず		検出されず

(表4) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 熊野川 (採水地点 = 第二釜屋橋) ④

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		10時18分	11時10分	11時25分	11時15分
気 温	℃	18.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	22.8	35.4	19.0	11.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		無色透明	淡黄色	淡茶色	無色透明
濁 り		なし	なし	微	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		9.0	9.8	9.7	9.3
B O D	mg/l	1.1	3.9	検出されず	3.1
C O D	mg/l	15.0	3.2	7.5	4.4
S S	mg/l	3.3	5.3	7.0	2.3
D O	mg/l	7.2	5.8	9.1	11.2
大腸菌群数	MPN/100ml	9,300	400	230	2,100
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	0.56	0.71	1.44	0.73
全 リ ン	mg/l	0.14	検出されず	0.54	0.23

(表5) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 王子川 (採水地点 = 塩屋町北塩屋1474番地1先) ⑤

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		10時30分	11時35分	11時40分	11時30分
気 温	℃	20.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	19.2	28.1	18.5	12.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	淡茶色	淡茶色	淡茶色
濁 り		微	微	微	微
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.1	7.5	7.9	7.9
B O D	mg/l	8.4	7.5	検出されず	5.3
C O D	mg/l	18.0	5.0	9.5	6.4
S S	mg/l	2.7	6.2	2.0	3.5
D O	mg/l	7.6	6.2	6.5	8.1
大腸菌群数	MPN/100ml	9,300	24,000	2,400	1,500
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	0.35	0.73	0.54	0.59
全 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	0.06

(表6) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 楠井川(採水地点=濱側橋)⑥

調査年月日	単 位	R3.5.11	R3.8.30	R3.11.2	R4.2.15
時 刻		11時20分	12時25分	12時55分	12時36分
気 温	℃	22.0	32.0	19.0	10.0
水 温	℃	23.5	27.2	16.5	9.0
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
濁 り		なし	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.8	7.9	7.8	7.7
B O D	mg/l	1.4	2.5	検出されず	検出されず
C O D	mg/l	2.8	2.8	1.4	2.7
S S	mg/l	1.0	3.8	検出されず	3.0
D O	mg/l	8.0	7.1	7.9	9.5
大腸菌群数	MPN/100ml	7,500	46,000	930	2,300
カドミウム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/l	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/l	0.76	0.99	1.11	0.62
全 リ ン	mg/l	検出されず	0.06	検出されず	0.07

(表7) 斎川の水質 (年平均値)

測定地点：斎橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100mℓ
H29	7.5	1.9	2.6	7.0	18,700
H30	7.2	2.2	8.6	7.1	12,100
R1	7.5	2.1	4.6	7.5	76,200
R2	7.3	1.6	2.1	7.8	12,200
R3	7.4	0.8	1.6	7.7	70,300

(表8) 下川の水質 (年平均値)

測定地点：中島橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100mℓ
H29	7.2	7.3	6.7	6.6	66,900
H30	7.0	8.7	7.1	6.8	96,000
R1	7.3	6.8	4.5	7.1	298,800
R2	6.9	8.4	6.3	8.3	73,800
R3	7.1	2.4	2.5	7.5	182,000

(表9) 日高川の水質 (年平均値)

測定地点：野口新橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100mℓ
H29	7.3	1.6	2.8	7.0	8,900
H30	7.1	2.4	5.5	7.8	11,400
R1	7.5	1.2	1.5	7.8	5,900
R2	7.3	0.9	1.2	7.8	4,700
R3	7.1	1.4	1.6	7.7	4,330
環境基準	6.5~8.5	2以下	25以下	7.5以上	1,000以下

(表10) 熊野川の水質 (年平均値)

測定地点：第二釜屋橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100m ℓ
H29	8.7	4.2	1.7	7.6	12,000
H30	8.6	6.0	3.3	8.5	9,030
R1	9.0	5.3	2.8	8.8	6,600
R2	8.9	3.6	20.0	9.7	35,800
R3	9.5	2.0	4.5	8.3	3,008

(表11) 王子川の水質 (年平均値)

測定地点：塩屋町北塩屋1474番地1先

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100m ℓ
H29	7.4	7.2	4.4	7.3	39,500
H30	7.4	7.9	5.5	7.0	9,240
R1	7.6	10.1	7.5	6.9	26,000
R2	7.4	6.9	3.7	7.0	12,200
R3	7.6	5.3	3.6	7.1	9,300

(表12) 楠井川の水質 (年平均値)

測定地点：濱側橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数 MPN/100m ℓ
H29	7.4	2.1	3.7	7.4	13,600
H30	7.5	1.8	2.3	7.9	25,400
R1	8.0	3.0	7.0	8.2	8,100
R2	7.7	1.8	4.7	7.2	84,600
R3	7.8	1.0	2.0	8.1	14,200

第 2 節 水質の汚濁に係る環境基準

平成 2 6 年改正

人の健康の保護に関する環境基準

基 準 値							
カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B
0.003mg/ℓ 以下	検出され ないこと	0.01mg/ℓ 以下	0.05mg/ℓ 以下	0.01mg/ℓ 以下	0.0005mg/ℓ 以下	検出され ないこと	検出され ないこと

基 準 値							
ジクロロメタン	四塩化炭素	1.2-ジクロロエタン	1.1-ジクロロエチレン	シス-1.2-ジクロロエチレン	1.1.1-トリクロロエタン	1.1.2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン
0.02mg/ℓ 以下	0.002mg/ℓ 以下	0.004mg/ℓ 以下	0.1mg/ℓ 以下	0.04mg/ℓ 以下	1mg/ℓ 以下	0.006mg/ℓ 以下	0.01mg/ℓ 以下

基 準 値							
テトラクロロエチレン	1.3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
0.01mg/ℓ 以下	0.002mg/ℓ 以下	0.006mg/ℓ 以下	0.003mg/ℓ 以下	0.02mg/ℓ 以下	0.01mg/ℓ 以下	0.01mg/ℓ 以下	10mg/ℓ 以下

基 準 値		
ふっ素	ほう素	1.4-ジオキサソ
0.8mg/ℓ 以下	1mg/ℓ 以下	0.05mg/ℓ 以下

- ※ 1) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については最高値とする。
2) 「検出されないこと」とは、定量限界を下回ることをいう。

第 3 節 水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（御坊市関係）

<河川（湖沼を除く。）>

昭和49年10月19日
告示第713号

公害対策基本法（昭和42年法律第132号）第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委託に関する政令（昭和46年政令第159号）第1項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）の別表2の2に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
日高川水域	日高川 (天田橋から上流の水域)	A	直ちに達成	

平成26年10月10日
告示第1254号

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第2項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示第59号）別表2の1（1）イに掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
日高川水域	日高川 (天田橋から椿山ダムまでの水域)	生物B	直ちに達成	

<海域>

昭和59年4月5日
告示第248号

公害対策基本法（昭和42年法律132号）第9条第2項並びに環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委託に関する政令（昭和46年政令第159号）第1項の規定により、次の表の水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁舎示第59号）の別表2の2に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、該当水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
御坊市及び美浜町の地先海域	別記の水域	A	直ちに達成	

別記

紀伊日の御岬燈台と紀伊日の御岬燈台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬に至る直線の線上で紀伊日の御岬燈台から1,000メートルの地点を結んだ直線、同地点から壁川崎の北緯33度50分31秒東経135度9分58秒の地点を結んだ直線及び陸岸に囲まれた水域並びに日高川天田橋、西川西川大橋、西川西川小橋及び熊野川昭和橋の各下流の河川区域に含まれる水域

生活環境の保全に関する環境基準

河川(湖沼を除く。)

ア

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃度 (PH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然 環境保全及び A以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	50MPN/ 100ml以下
A	水道2級、水産 1級、水浴及び B以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	1000MPN/ 100ml以下
B	水道3級、水産 2級及びC以下 の欄に掲げるも の	6.5以上 8.5以下	3mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	5000MPN/ 100ml以下
C	水産3級、工業 用水1級及び D以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/ℓ以下	50mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	—
D	工業用水2級 農業用水及び Eの欄に掲げ るもの	6.0以上 8.5以下	8mg/ℓ以下	100mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/ℓ以下	ごみ等の浮遊 が認められな いこと	2mg/ℓ以上	—

- (注)1. 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
2. 水道1級 : ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級 : 沈殿ろ過等による通常の浄化操作を行うもの
水道3級 : 前処理等を伴う高度の浄化操作を行うもの
3. 水産1級 : ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級
及び水産3級の水産生物用
水産2級 : サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産
3級の水産生物用
水産3級 : コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
4. 工業用水1級 : 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級 : 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級 : 特殊の浄水操作を行うもの
5. 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を
生じない限度

河川(湖沼を除く。)

イ

項目 類型	水生生物の生息 状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼ ンスルホン酸及びそ の塩
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/ℓ以下	0.001mg/ℓ以下	0.03mg/ℓ以下
生物 特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/ℓ以下	0.0006mg/ℓ以下	0.02mg/ℓ以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/ℓ以下	0.002mg/ℓ以下	0.05mg/ℓ以下
生物 特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/ℓ以下	0.002mg/ℓ以下	0.04mg/ℓ以下

海域

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃度 (PH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
A	水道1級、水浴 自然環境保全 及びB以下の 欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	1000MPN/ 100ml以下	検出されないこと
B	水道2級、工業 用水及びCの 欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	—	検出されないこと
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	—	—

- (注) 1. 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2. 水道1級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物
 水道2級 : ボラ、ノリ等の水産生物用
 3. 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を
 生じない限度

第 4 節 水生生物による水質調査

川の汚れを判断する指標となる 29 種類の水生生物があり、平成 6 年度から日高川河畔にて、水生生物による水質調査を行っている。

令和 3 年度は、環境衛生課と公益財団法人御坊市ふれあいセンターとの共催で、和歌山県環境衛生研究センター職員を講師に迎え、野口小学校・藤田小学校の 4 年生児童を対象に、環境教育の一環として、日高川の水質を知ってもらうとともに、水辺をはじめとする自然に親しむことにより、環境保全について関心を育むことを目的とした「水辺教室」を実施した。

当日は好天気に恵まれ、カワゲラ類やヒラタカゲロウ類などを中心に、きれいな水に住んでいる水生生物を採取することができ、水質階級の判定では、「水質階級 I (きれいな水)」であることを確認した。

<調査結果>

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類に●印をつけています)			
水質階級 I (きれいな水)	1	アミカ類	
	2	ナミウズムシ	
	3	カワゲラ類	●
	4	サワガニ	○
	5	ナガレトビケラ類	○
	6	ヒラタカゲロウ類	●
	7	ブユ類	
	8	ヘビトンボ	
	9	ヤマトビケラ類	
	10	ヨコエビ類	○
水質階級 II (ややきれいな水)	11	イシマキガイ	
	12	オオシマトビケラ	○
	13	カワニナ類	
	14	ゲンジボタル	
	15	コオニヤンマ	
	16	コガタシマトビケラ類	○
	17	ヒラタドロムシ類	
	18	ヤマトシジミ	
水質階級 III (きたない水)	19	イソコツブムシ類	
	20	タニシ類	
	21	ニホンドロソコエビ	
	22	シマイシビル	
	23	ミズカマキリ	
	24	ミズムシ	
水質階級 IV (とてもきたない水)	25	アメリカザリガニ	
	26	エラミミズ	
	27	サカマキガイ	
	28	ユスリカ類	
	29	チョウバエ類	

<水辺教室の様子>

